

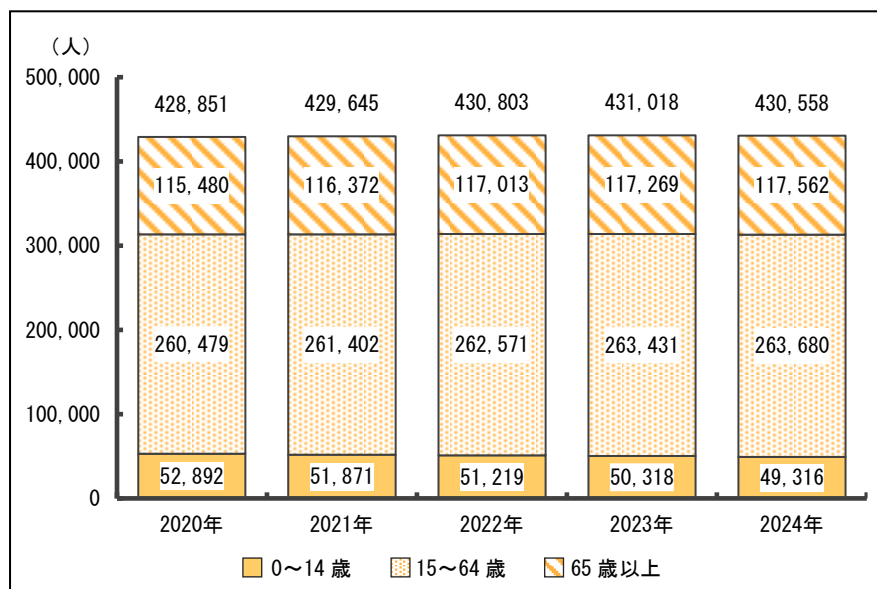
「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」及び 「第二期町田市子ども・子育て支援事業計画」の5年間の総括について

2020～2024年度の「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」では、「子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す」の基本理念を掲げ、3つの基本目標を達成するために、目指す姿、基本施策、主な取組を定め、本市の子ども・子育て施策を推進してきました。5年間の実績について、報告いたします。

1 町田市の子どもの状況

町田市の年少人口（0～14歳）は、年々減少しています。

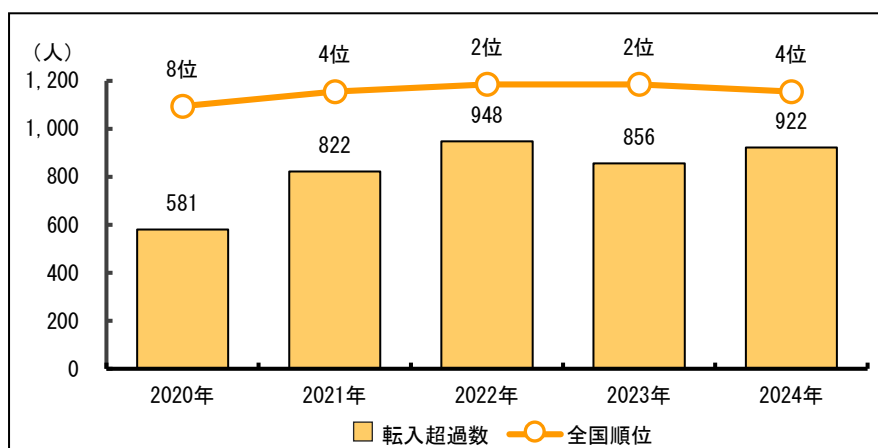
■年齢3区分別人口推移（各年4月1日現在）



資料：住民基本台帳

0～14歳の転入超過数は全国10位以内となり、多くの子育て家庭が転入しています。

■0～14歳の転入超過数と全国順位の推移



資料：総務省「住民基本台帳
人口移動報告」

2 新・町田市子どもマスタープラン（後期）のまとめ

● 基本目標1の考察

「子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている」

基本目標1における、子どもの参画に関する事業については、子どもの意見を尊重する気運の高まりから様々な部署が連携して取組を行ったことや、子どもからの積極的な提案により、子どもが意見を発信できる会議が増加したことで、参画の機会の拡充につながりました。一方で、子どもが個性や能力を伸ばす教育・保育の現場を支える保育士の人材確保事業については、コロナ禍以降に就職活動のスタイルが変わり、集合型の就職相談会の参加者数が減少したため、新たにバスツアーを開催するなど、保育士養成校の現状や学生の傾向を研究しながら取組を行いました。

今後は、引き続き子どもの参画を進め、子どもの声を聴く取組を進めるとともに、本市の保育ニーズへの対応や保育の質の向上に向けて、保育士の人材確保の取組を強化する必要があります。

■子ども委員会実施回数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	120	120	120	120	120
実績	142	152	176	234	252

■子どもが意見を発信できる会議（事業）の数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	3	3	3	3	3
実績	4	6	12	12	8

■保育士等の人材確保事業（就職相談会や保育所見学等）への参加者数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	300	300	300	300	300
実績	89	275	167	25	21

● 基本目標 2 の考察

「子どもが安らいでいる家庭があり、家庭が地域とつながっている」

保護者の保育ニーズに応えるための事業の一つである送迎保育ステーションについては、園バスの活用による送迎人数の拡充や送迎先保育所等の定員拡充により、2021年度以降は利用者数が増加しました。また、学童保育クラブについては、校舎の活用によって育成スペースの拡張や定員枠の増加につながり、高学年も含めた多くの児童を受け入れることができました。一方、子育ての援助活動を行うファミリー・サポート・センターの活動数については、コロナ禍で大きく減少しましたが、徐々に回復してきています。

基本目標 2 に掲げた子育て支援に関する事業は、コロナ禍による保護者のライフスタイルの変化が大きく影響したものの、事業の実施方法を工夫するなどして柔軟に対応し、必要な支援を提供することができました。

今後も子育て家庭が安心して子育てができるように、引き続き保育環境の整備や、地域と連携した支援を行っていく必要があります。

■送迎保育ステーション延べ利用者数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
実績	7,500	9,145	9,374	8,938	8,979

■学童保育クラブにおける高学年児童の受入れ人数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	検討	502	517	489	486
実績	検討	525	758	898	1,044

■ファミリー・サポート・センター活動数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
実績	4,800	6,247	7,005	7,079	8,578

● 基本目標 3 の考察

「子どもが地域の中で大切にされている」

放課後子ども教室「まちとも」について、地域の関係者の協力のもと、市内の小学校全 42 校で実施しました。また、冒険遊び場の拡充や、子どもクラブの新設など、子どもの居場所の充実を図ることができました。さらに、地域子育て相談センターでは、登録制ボランティアに加え、子育てひろば参加者が手伝える「ママボランティア」を導入したことで、新たな担い手の確保につながりました。

基本目標 3 における地域の居場所に関する事業を進める上で、地域の担い手とともに協働して取組を進めることができました。

今後も、地域の中で子どもが過ごしやすい居場所の充実を図るとともに、地域を担う人材の確保に努め、地域全体で子どもを支えていく体制を整備する必要があります。

■放課後子ども教室「まちとも」実施校数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	34	42	42	42	42
実績	34	42	42	42	42

■常設型冒険遊び場の設置箇所数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	4	5	5	5	5
実績	4	4	5	5	5

■子どもクラブ新規開館施設数

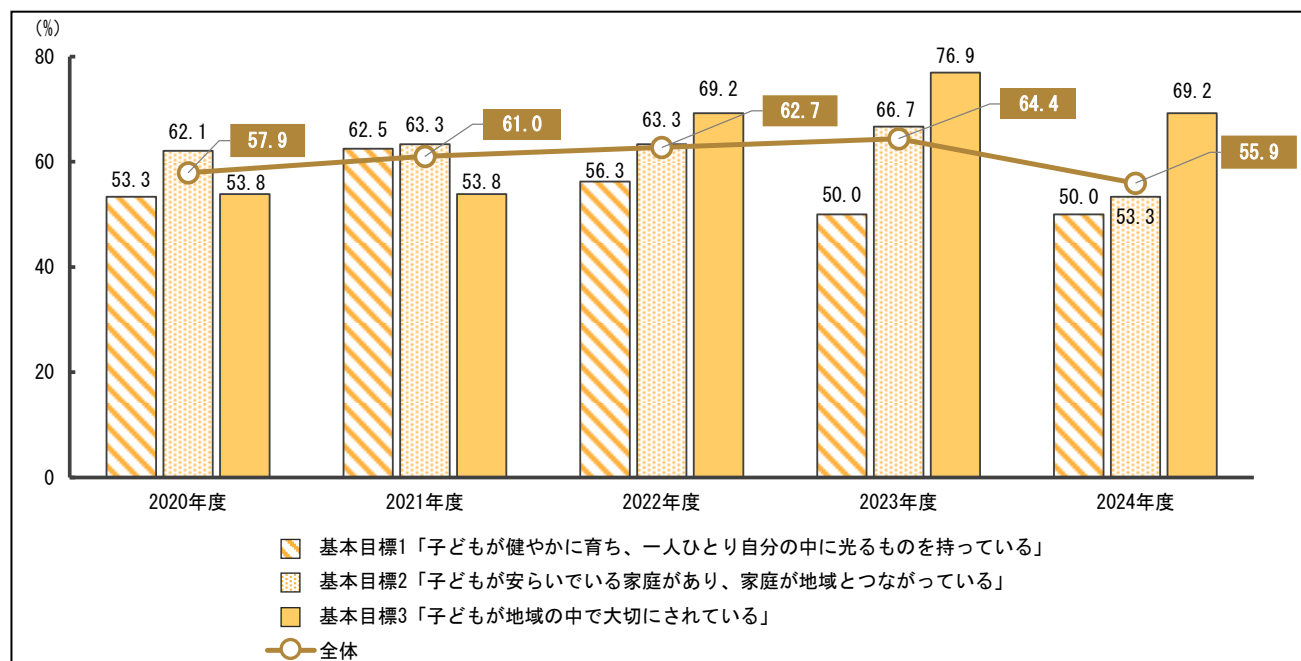
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	1	1	1	1	—
実績	1	0	0	1	0

■地域子育て相談センターにおけるボランティア人数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目標	120	120	120	120	120
実績	107	108	108	61	210

● 「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」全体の考察

■ 「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」取組達成率



「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」の計画期間は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったものの、感染防止対策を講じて講座やイベント等の取組を実施するなどし、2021年度から2023年度にかけて達成率は上向きとなりました。この5年間を通して、2024年度は目標に対して実績が届かなかった取組が増加したものの、実績値自体は前年度を上回っており、計画全体として、目標に向けた取組を推進することができました。

計画の取組の他に、社会状況の変化に対応するため、ヤングケアラーの相談窓口の設置や、保育の質向上として保育コンシェルジュの機能強化、「町田市子どもにやさしいまち条例」の普及・啓発などの新たな取組も進めました。

今後は、「町田市子どもにやさしいまち条例」の理念を継承し、「子どもにやさしいまちの実現」に向けて、次期計画である「町田市子どもマスタープラン25－34」の取組を推進していきます。

3 第二期町田市子ども・子育て支援事業計画の考察

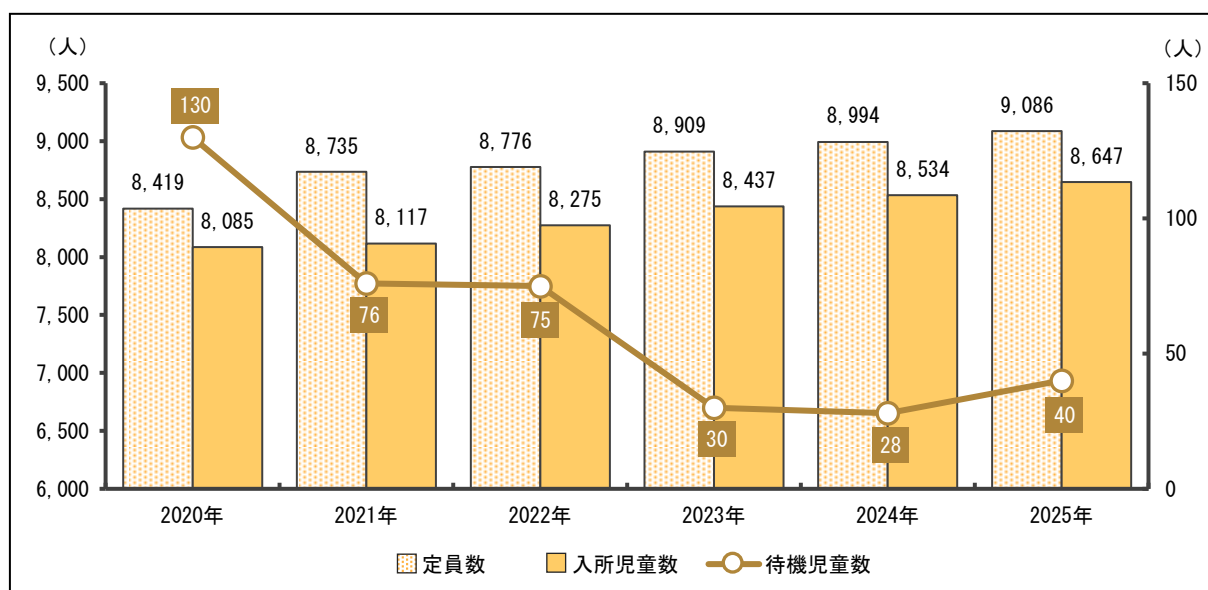
「第二期町田市子ども・子育て支援事業計画」は、「子ども・子育て支援法」に基づき、保育所や幼稚園の整備等に係る「教育・保育事業」及び地域における子育て支援施策に係る「地域子ども・子育て支援事業」について、2020～2024年度の計画期間における保育サービスなどの量の見込み、確保の内容、実施時期等を定めた需給計画です。

● 教育・保育事業の考察

待機児童数や施設定員の空き状況を鑑み、2021年度及び2022年度に計画の見直し・変更を行いました。計画に基づき、5年間で認可保育所3園、小規模保育事業所4園を整備し、既存施設の定員拡大等が図られました。これにより、待機児童数は計画初年度と比較して大きく減少しましたが、保育ニーズの高まりもあり、解消には至りませんでした。

今後も、既存施設の改築整備や定員調整を中心に実施し、「量」と「質」の両面から十分な教育・保育が提供できるように努めます。なお、施設整備にあたっては、社会資源や子どもの数の変化、財政状況を踏まえて、市全体として柔軟に取り組むこととします。

■認可保育所等の定員数、入所児童数、待機児童数（各年4月1日現在）



● 地域子ども・子育て支援事業の考察

すべての子育て家庭に向けて、地域における様々な子育てサービスの支援を行うとともに、情報提供を行いました。

- こんにちは赤ちゃん訪問については、出産・子育て応援交付金事業の実施等に伴い、2023年度以降は高い訪問数を維持しています。マイ保育園事業の訪問業務と連携して出生通知票未提出者への訪問も実施し、家庭状況を把握することができました。
- 子育てひろば事業については、0～5歳児の人口減少及び認可保育所等への入所児童数が増えたこと等により、利用者は減少傾向にあります。今後は、個々の事情に合わせたきめ細やかな支援を行うなど、質の向上に努める必要があります。
- ショートステイ（宿泊保育）、トワイライトステイ（夜間保育）については、2023年度から要支援家庭を対象とするショートステイ事業を開始し、支援を必要としている家庭を利用につなげることができました。
- 学童保育クラブ事業については、2021年度から高学年児童の受入れを開始したことで、入会児童数は増加しています。

0～5歳児の人口が減少し、コロナ禍以降の保護者のライフスタイルが変化していく中で、それぞれの事業においては、ニーズ量の確保はもとより、質の向上に取り組むことができました。

次期計画である「第三期町田市子ども・子育て支援事業計画」では、「子ども・子育て支援法」で新たに定められた事業を含め、利用状況やニーズを鑑みながら、提供体制を確保していきます。

担当：子ども生活部 子ども総務課